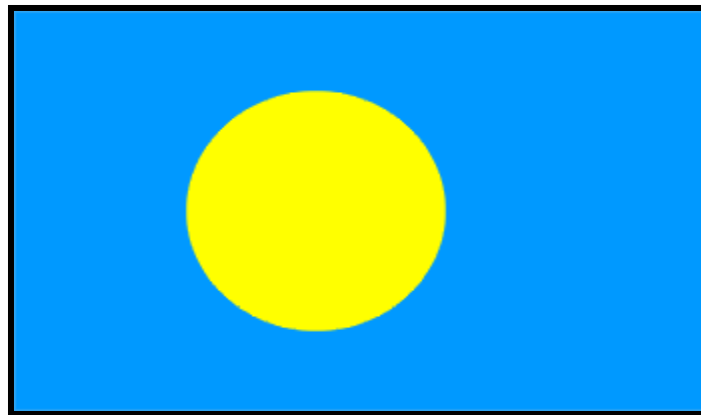




持続可能な島嶼社会の発展に関する 専門家会議 (2014年沖縄)



パラオ共和国

グレッグ・デエロン

"No Island left behind"

本日の説明の概要

- パラオの国土条件
- パラオのエネルギーの概要
- 国家による取り組み
 - エネルギー
 - 環境
- 課題と制約
- 本トレーニング・プログラムを通じて何を実現すべきか？
- 結論



パラオの国土条件

- パラオは200を超える島で構成され、そのうち人が住んでいる島は9島しか存在しない
- 面積: 459平方キロメートル
- 地質学的に5種類の島
(火山島、海拔の高い石灰岩島、海拔の低い石灰岩島、環礁島、および火山島と石灰岩島が混在する島)で構成される
- 気候: 熱帯多雨気候
- 平均気温: 華氏82度(摂氏約28度)
- 降水量: 年間150インチ(約3,800ミリ)
- 人口: 20,273人(平均値の予測)
- 主な産業: 観光
- 国民1人当たりのGDP: 8,392.65ドル(国家統計局による予測)

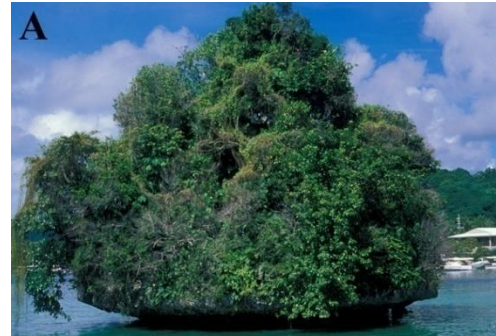
パラオのエネルギーの概要

- パラオの人口の98%はグリッドが提供する電力にアクセスすることができる
 - しかし、発電は軽油を使用したディーゼルエンジンによって行われている
 - そのため、パラオの経済はディーゼル燃料価格によって大きく影響される
 - パラオ南西部の島に残りの人口の2%が居住している
 - スタンドアロン型の太陽光発電システムを使用
 - グリッドと接続した太陽光発電がピーク時の需要の2%に対応
 - この比率は2012年には4%に達するものと思われる
 - パラオのディーゼル燃料使用のほぼ全ては発電のために行われている
 - ガソリンは主に運輸交通のために使用されている
 - 特に観光業界で使用される
 - ディーゼル燃料とガソリンは1ガロンあたり0.05ドル課税され、価格管理は行われていない
 - LPGの輸入が行われ、主に調理用に使用される
 - 小規模な養豚場向けにバイオガスのパイロットプログラムが実施されている
 - 水力発電、風力発電、波力発電、海洋温度差発電、バイオディーゼル発電をすぐに実施できる可能性はない

パラオは気候変動に 対して脆弱である



干ばつ
海面の上昇
サンゴの白化
自然災害
食糧安全保障
経済の不安定化



気候変動によるこのような影響によってパラオの生活が脅かされるだけでなく、未来におけるパラオの国家の存続が危機にさらされている

"No Island left behind"





パラオのエネルギーに関する取り組み

- 2010年におけるパラオのエネルギー政策
 - Green Energy Micronesia
 - 2020年までに20-30-20の目標を実現
- 再生可能なエネルギーのテクノロジー
 - 現在パラオで実績のあるテクノロジーは太陽光発電に限られる
 - パラオ国家開発銀行が再生可能なエネルギーのための助成金プログラムを実施
 - 2012年の末までに再生可能なエネルギーの比率が4%に達成すると思われる
- エネルギー効率の高いテクノロジー
 - 電球型蛍光灯(CFL)
 - LED照明
 - パラオ国家開発銀行が再生可能なエネルギーのための助成金プログラムを実施
- パラオによる省エネルギー戦略(PECS)
 - 公共部門において主に実施
- エネルギー効率向上のためのアクションプラン(EEAP)
 - 20,000個の電球型蛍光灯をパラオ全体に配布
 - 政府機関に必要な設備を設置する

パラオのエネルギーに関する取り組み

- 保護された地域のネットワーク(PAN)
 - 州レベルでイニシアチブを実施
- Micronesian Challenge 30-20-20
 - ミクロネシア地域におけるイニシアチブ
 - 沿岸部の海洋生物の30%を保護
 - 陸地の20%を保護
 - 2020年までに達成
- グリーンフィー
 - 全ての観光客から15ドルの環境保護税(グリーンフィー)を徴収することによって、パラオの手つかずの自然環境の持続可能性と保護に役立てる
- 緑の革命
 - 実のなる木の植林、植物の栽培、および農作物の耕作を増やすことによって、将来の世代のためにパラオの食糧安全保障を実現することを目的とした運動
- 総合的な水資源の管理(IWRM)

課題と制約

- ◎ グリッドを通じて提供される電力はディーゼル燃料に大きく依存しているため、パラオは石油価格の変動に対して脆弱である
- ◎ 現時点では国家による気候変動に対する政策は存在しない
- ◎ エネルギー業界全体を通じて統計データの収集能力が弱い
- ◎ 太陽光発電以外の再生可能なエネルギー源を開拓するために必要な分析データと統計データが欠如している
- ◎ 現在のリソースでは不十分である
- ◎ 地元専門家が不足しているため、育成が必要
- ◎ 一般市民とリーダーに対する認知度改善と教育が必要である

本プログラムを通じて何を実現すべきか？

- さまざまな業界において通じて互いに補完的かつ効果的な政策を構築し、主要課題として当該政策に取り組む
- 気候変動に関する政策
 - 主要な政策課題の柱として気候変動政策が必要
- 再生可能なエネルギーに関する政策
 - 再生可能なエネルギーの市場を醸成する
 - 再生可能なエネルギーの活用に関するインセンティブを政府が提供する
- グリーン・テクノロジー
 - 熱帯環境に適した太陽光エネルギーと風力エネルギー
 - スマートグリッド
- グリーンファイナンスとカーボンマーケット
 - より構造化された枠組みが必要
- 能力開発と技術移転



パラオにおける太陽光発電とグリッドを 連携させたシステム



“メスラン” (ありがとう)



**エネルギーに対する認識を高めることによって、
我々は全ての島の環境を守ります。
島は我々にとって故郷であるだけでなく、我々の拠り所なのです。**